

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.819
2018.12.2

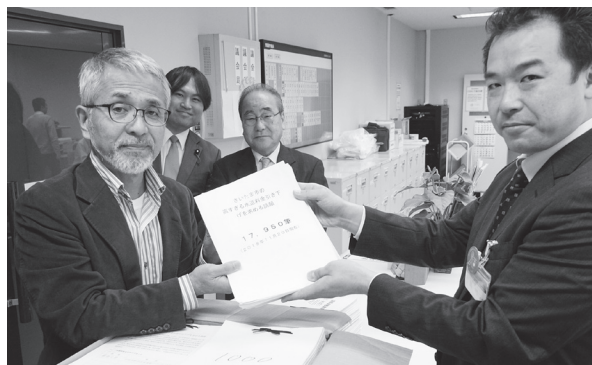
発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

山崎 あきら	久保 みき
神田よしゆき	もりや千津子
戸島 よし子	松村 としお
とりうみ敏行	大木 学

高すぎる水道料金 引き下げて！

請願署名 1万7950筆を提出



署名提出に立ち会うとりうみ（右から2人目）、大木（その隣）の両市議

11月20日、市民要求実現さいたま総行動実行委員会（委員長：前島英男氏）が、12月議会に向けて、「さいたま市の高すぎる水道料金引き下げを求める請願」を1万7950筆の署名をそえて市議会に提出しました。党市議団が紹介議員になり、請願提出にはとりうみ敏行、大木学の各市議が同席しました。

水道は子どもから高齢者まで生活になくてはならないものであり、自治体が責任をもって供給し、しかもできるだけ安価で提供され

なければなりません。ところが、さいたま市の一般家庭の水道料金（口径20ミリ・20㎡・消費税込み）は、年間4万1208円に上り、20政令市のなかでも3番目（新聞報道）に高く、近隣他市との比較でも横浜市より9384円、川口市より7908円、川越市より1万4256円も重い負担となっています。

さいたま市の水道料金は、市の財政から切り離されて独立採算制（公営企業法）で運営されており、一般会計からの繰り入れがなく、すべて市民の水道利用料金で賄われています。そのなかで、毎年60億円前後の黒字となっており、2017年度決算では58億円の黒字です。このような経過をたどって、累積している資金剰余金は94億円にのぼっています。

党市議団がおこなった市民アンケートの回答では、「税金や公共料金の引き下げ」が、市に対する要望の第1位を占めており、これまでも繰り返し議会質問で取り上げてきました。引き続き請願採択と水道料金引き下げに向けて全力でとりくむ決意です。

12月議会がはじまりました

12月定例議会が、11月28日（水）から12月21日（金）の24日間ひらかれます。

12月議会には、市長をはじめとする特別職、および議員の期末手当の支給割合の引き上げの議案が提出されています。市民の福祉は切り捨てる一方で、市長や議員の期末手当

を引き上げるなど許されません。

一般質問は12月3日（月）～5日（水）の間でおいこなわれ、党市議団からもりや千津子市議と大木学市議が登壇します。日程は決まり次第お知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。

一般質問（予定）

もりや千津子市議



- ①「九条俳句」不掲載問題について
- ② 社会保障の削減と市民の暮らしについて
- ③ 南区のまちづくりについて

大木 学市議



- ① 水道料金の引き下げについて
- ② 岩槻区の水害・治水対策について
- ③ コミュニティバス・乗合タクシーの拡充について
- ④ 知的障害特別支援学校の教室不足解消について

紹介議員になった請願

- ・「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、学校の教室・体育館にエアコンを設置して下さい
- ・子育て支援子ども医療費助成制度の18歳（年度末）までの拡充等を求める（新婦人浦和・大宮・与野・岩槻支部）
- ・ゆきとどいた教育をすすめるための30人学級実施を求める（30人学級を実現するさいたま市民の会）
- ・さいたま市の高すぎる水道料金引き下げを求める（市民要求実現さいたま総行動実行委員会）
- ・酷暑からさいたま市民の命を守る対策の拡充を求める（生活と健康を守る会・さいたま市協議会）

党市議団提出の意見書（案）

- ・日米地位協定の抜本的見直しを求める
- ・国民健康保険に対する国庫負担の拡充を求める
- ・特別支援学校の設置基準の策定を求める
- ・後期高齢者の医療費の窓口1割負担の継続を求める
- ・被災者生活再建支援制度の拡充を求める

1万3165筆の請願署名を提出 30人学級実現は市民の願い



11月19日、「30人学級を実現するさいたま市民の会」のみなさんが、12月議会に向けて「ゆきとどいた教育をすすめるための30人学級実施を求める請願書」を1万3165筆の署名をそえて市議会に提出しました。党市議団が紹介議員になり、請願提出には山崎あきら、とりうみ敏行、大木学の各市

議が同席しました。

同会は「さいたま市独自で、30人学級を実現すること」を求めて15年以上署名活動続け、署名数の累計は50万筆近くにのぼります。

さいたま市は、1クラスの児童・生徒数が35人を超える学級の割合が政令市平均を大きく上回っており、小学校1・2年生で各

20人で2クラスだった学年が、3年生時に40人で1クラスになる状況も生まれています。そのため今回の請願では、「当面、小学校3年生と中学校3年生で35人学級を実施すること」と『学級人数急増クラス』の生じた学校には緊急に加配措置をとること」をあわせて求めています。党市議団は請願採択に全力をあげます。

埼玉土建と市が懇談

建設労働者の賃金・労働条件の改善を



懇談に参加する（最後列右から）山崎、とりうみ、大木の各市議

11月22日、埼玉土建3支部（さいたま南・さいたま北・岩槻蓮田支部）が市と懇談をおこない、党市議団より山崎あきら、とりうみ敏行、大木学の各市議が同席しました。

要望項目は、「地域建設業の振興のために」として（1）地元業者を優先して地域建設業者の育成をはかる（2）公共工事に従事する建設労働者の賃金、労働条件の改善（3）自治体による建設産業後継者育成への支援と、

「住民要求について」として（1）耐震対策の推進、（2）住民の住宅要求を実現し、地域経済も活性化するリフォーム制度の実現、（3）アスベスト対策があげられました。

参加者からは「建設設計労務単価における賃金単価が安すぎて、若い世代が入職できない」「市は責任をもって、公共工事に従事する建設労働者の実態を調査してほしい」など切実な要望が述べられ、公契約条例の制定や市と埼玉土建との災害協定を締結すること等、具体的な政策提案がおこなわれました。

市立美園南中の工事現場を調査

さいたま市立美園南中学校（緑区）は、来年4月の開校に向けて校舎や体育館の建設が進められています。しかし、校舎の建築を請け負った共同企業体（3社で構成）の代表企業エム・テックが10月に倒産、工事が進んでいない状態です。11月20日、工事の進捗状況を確認するため、各会派の代表が現地調査をおこないました。党市議団から神田よしゆき、大木学の両市議が参加しました。

校舎の躯体は、3階の約3分の1と通路部分を覆う大屋根は着手されていません。工事は継続されますが、開校が4月に間に合わなくなりました。

さいたま市の教育委員会は、校舎建設の遅れのため、周辺の学校の校舎を借りて授業をスタートさせることを計画しています。工期は7月までのび、新校舎の開校は2学期

からになる見通しです。通学や部活動の実施などさまざまな検討課題があります。子ども・保護者へのていねいな説明や、教

育活動にできるだけ影響が出ないように、美園南中の教員・生徒への支援等が市教育委員会に求められています。

残りの工事は、共同企業体の2社がおこなうことで合意しましたが、請け負った企業、それも代表企業が倒産するのははじめてのケースです。追加などの工事はすべて市が負うのか、どこまで事業者の責任を問うことができるのかは、今後の議会の焦点の1つです。



美園南中の昇降口

あなたの身近な議員です



市議(中央区)



市議(北区)



市議(見沼区)



市議(浦和区)



市議(桜区)



市議(南区)



市議(緑区)



市議(岩槻区)

山崎あきら 神田よしゆき 戸島よし子 とりうみ敏行 久保 みき もりや千津子 松村としお 大木 学